

授業科目 卒業研究 I

| | | | | |
|--|------|----|------|----|
| 【担当教員名】 東江 由起夫、須田 裕紀、 義肢装具自立支援学科教員全員 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | 義肢 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

| | | | | |
|-------------------|-------|-------|----|-------|
| 【カリキュラムポリシーとの関連性】 | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

【概要・一般目標：G10】
義肢装具ならびに福祉用具にかかわる研究を行う。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. これまでに学習した知識を生かした研究ができる。
2. 科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できる。
3. 社会に貢献できる研究が遂行できる。
4. 自主的に研究ができる。
5. 仲間と助け合って研究ができる。
6. 結果をわかりやすくプレゼンテーションできる。

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
|----|------------|-----------|----------------------|
| 1 | 研究計画 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 2 | 研究計画 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 3 | 文献検索 | | 全教員 |
| 4 | 文献検索 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 5 | 文献検索 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 6 | 実験計画 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 7 | 第1次中間発表会 | | 全教員 |
| 8 | 第1次中間発表会 | | 全教員 |
| 9 | 予備実験 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 10 | 分析 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 11 | 分析 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 12 | 分析 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 13 | 中間報告書 | | 全教員（ゼミ単位） |
| 14 | 第2次中間発表会 | | 全教員 |
| 15 | 第2次中間発表会 | | 全教員 |

| | | | | |
|-------------------|------|-------|-------|------------|
| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | | | |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | | | | |

| | |
|---|---|
| <p>【評価方法】</p> <p>中間発表を評価する。(計画が立案できる知識を身につけているか)</p> <p>中間発表を評価する。(社会に役立つ研究を進めているか。自主的に進めているか。仲間と助け合って進めているか。)</p> <p>中間発表を評価する。(科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できているか。わかりやすいプレゼンか。)</p> <p>論文の質を評価する。(社会に貢献できる論文になっているか。)</p> | <p>【履修上の留意点】</p> <p>研究テーマは3年次に決まっていることが望ましい。</p> <p>卒業研究計画の単位修得者でなければ履修することはできない。</p> |
|---|---|